

# カンタン操作ガイド

主電源ランプ



- 主電源ランプが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、本体の主電源を入れてください。
- 枕を後ろに回して、お座りください。

## 自動コース

1 背部と脚部をお好みの位置に合わせてください。

背部： を押すと背もたれ部が起き上がります。

を押すと背もたれ部が倒れ、脚部が上がります。

脚部： を押すと脚部が上がります。

を押すと脚部が下がります。

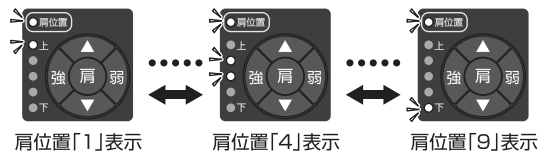
2 を押し、お好みのコースを選択してください。

- 選択した自動コースのランプが点灯します。

3 自動コースを選択すると、もみ玉が肩位置を自動的に検知します。

検知した肩位置は、 を押して変更できます。

- 肩位置は9段階から選択できます。



## 自動コースの種類

- 全身疲労回復 …… 全身をくまなく移動しながらマッサージを行うコース
- 全身集中 …… 全身を部位ごとにじっくりとマッサージを行うコース
- 肩疲労回復 …… 肩・背部のコリや疲れをやわらげるコース
- 腰疲労回復 …… 腰のコリや疲れをやわらげるコース
- ストレッチ …… ストレッチ動作を中心としたマッサージコース

# 自動コース動作中の調節

## 背の強さを調節したいとき

- 背でお好みの強さに調節します。  
● 背強さは、2段階から選択できます。

## 腰の強さを調節したいとき

- 腰でお好みの強さに調節します。  
● 腰強さは、5段階から選択できます。

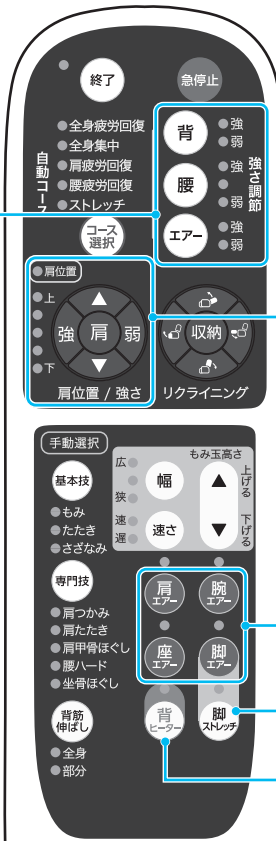
## エア強さを調節したいとき

- エアでお好みの強さに調節します。  
● エア強さは、2段階から選択できます。  
※ エアの強さ調節は、部位ごとに調節できません。

強さのランプ

強さ		弱	1	2	3	4	強
ランプの点灯	5段階(腰)	●	●	●	○	○	○
	2段階(背・エア)	●	-	-	-	-	○

○…点灯 ●…消灯



## 肩の強さを調節したいとき

- 肩でお好みの強さに調節します。  
● 肩強さは、5段階から選択できます。

## 肩・腕・座・脚エアを「入/切」したいとき

- 肩・腕・座・脚エアを押します。  
● それぞれボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。

## 脚ストレッチをしたいとき

- 脚ストレッチを押します。  
● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。

## ヒーターを「入/切」したいとき

- 背ヒーターを押します。  
● ボタンを押すごとに「入」→「切」と切り替わります。  
※ 背ヒーターは、背もたれ部マッサージと同時に使用しない場合、90秒間のみ動作します。

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

## 安全上のご注意

### 警告

- 使用前には、必ず背もたれ部のカバーやその他の部分が破れていないか確認する。  
破れがあった場合は、どんなに小さな破れでも直ちに使用を中止し、電源プラグを抜き、修理を依頼する。
- 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理しない。
- アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。
- 使い始めは、弱い刺激でマッサージする。
- マッサージをするときは、ピアス・イヤリング・ネックレス・襟巻きなどの装飾品をつけたまま使用しない。
- 頭部に髪飾りなどの硬いものをつけて使用しない。
- 腰・尻・ももをマッサージするときは、衣服(ズボンなど)のポケットに硬いものを入れたまま使用しない。
- 手や腕をマッサージをするときは、つけ爪・時計・指輪・プレスレットなどの硬いものを装着したまま使用しない。
- 次の人は使用しない。  
医師からマッサージを禁じられている人  
(例：血栓[そく(塞)栓]症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症(皮下組織の炎症を含む)など)
- 医師の治療を受けている人や心臓などに障害のある人、または身体に異常を感じているときは、必ず医師と相談のうえ、使用する。(詳しくは取扱説明書を参照)
- お子様やご自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- お子様を椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- ヒーターは長時間使用しない。また、同一箇所に長時間使用しない。
- 使用にあたっては、取扱説明書をお読みください。